

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		専門課程	ファッション総合学科 デザインビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1600 単位時間	165 時間	1170 時間	1605 時間	時間	時間
			2940 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人内数		58 人内数	0 人	5 人	24 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。
成績評価の基準・方法
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。 このように、大型のイベントに向けて行われる際に、企画・制作された成果物である学習成果を通して、様々な能力が身についたかかかどうかの確認を行う事が出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。このイベントにて、作品の提出が出来た者に対して卒業の認定を与えており、適切に実施を行っている。
学修支援等
（概要）学習支援については、各科目担当と学年担任の密接な連携により、単位不足等にならないよう、毎回出席状況、授業進捗の確認を行っている。欠席等により授業に出られない場合は、課題や補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	10人 (53%)	8人 (42%)	1人 (5%)
（主な就職、業界等） アパレル業界			

<p>(就職指導内容)</p> <p>インターンシップ、担任・就職担当者との個別指導、本学院独自の企業説明会を開催。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、色彩検定、カラーコーディネーター検定、洋裁技術検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	5人	8%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更。体調不足。 入学者は、普通科高校卒業以外に、通信制など、多様な学習形態を持つ高校を卒業して入学をしてくる。まず、朝、学校に来ることがハードルになっている場合がある。これらの学生の対応を、今後は行っていく必要がある。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任・院長との個別面談。 「継続して学校に来る」ことが出来ない学生がいることから、夏休みや春休みなど長期休みを多少短縮し、水曜日を休みにするなど、通いやすい環境の構築を行っている。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	専門課程	ファッション総合学科 テクニークコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1600 単位時間	165 時間	1170 時間	1605 時間	時間	時間
			2940 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60 人内数	58 人内数	0 人	5 人	24 人	29 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。
成績評価の基準・方法
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。 このように、大型のイベントに向けて行われる際に、企画・制作された成果物である学習成果を通して、様々な能力が身についたかかどうかの確認を行う事が出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。このイベントにて、作品の提出が出来た者に対して卒業の認定を与えており、適切に実施を行っている。
学修支援等
（概要）学習支援については、各科目担当と学年担任の密接な連携により、単位不足等にならないよう、毎回出席状況、授業進捗の確認を行っている。欠席等により授業に出られない場合は、課題や補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	10人 (52.6%)	8人 (42.1%)	1人 (5.3%)
（主な就職、業界等） アパレル業界			
（就職指導内容） インターンシップ、担任・就職担当者との個別指導、本学院独自の企業説明会を開催。			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、色彩検定、カラーコーディネーター検定、洋裁技術検定</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63人	5人	7.9%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更。体調不足。 入学者は、普通科高校卒業以外に、通信制など、多様な学習形態を持つ高校を卒業して入学をしてくる。まず、朝、学校に来ることがハードルになっている場合がある。これらの学生の対応を、今後は行っていく必要がある。</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任・院長との個別面談。 「継続して学校に来る」ことが出来ない学生がいることから、夏休みや春休みなど長期休みを多少短縮し、水曜日を休みにするなど、通しやすい環境の構築を行っている。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		専門課程	専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	800 単位時間/単位	60 時間	510 時間	1170 時間	時間	時間
			1740 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		10人	0人	5人	24人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。
成績評価の基準・方法
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。 このように、大型のイベントに向けて行われる際に、企画・制作された成果物である学習成果を通して、様々な能力が身についたかかどうかの確認を行う事が出来る。
卒業・進級の認定基準
（概要）本学院では、毎年1月に「:Dcreation」というイベントを行っている。このイベントでは、「展示会」「ファッションショー」「審査会」の3つが行われる。このイベントでは、外部から多くの関係者が集まり、学生が制作した作品や展示手法、プレゼン方法等の評価を行っている。このイベントにて、作品の提出が出来た者に対して卒業の認定を与えており、適切に実施を行っている。
学修支援等
（概要）学習支援については、各科目担当と学年担任の密接な連携により、単位不足等にならないよう、毎回出席状況、授業進捗の確認を行っている。欠席等により授業に出られない場合は、課題や補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	3人 (20%)	12人 (80%)
（主な就職、業界等） アパレル業界			
（就職指導内容） インターンシップ、担任・就職担当者との個別指導、本学院独自の企業説明会を開催。			

(主な学修成果 (資格・検定等)) ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、色彩検定、カラーコーディネーター検定、洋裁技術検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		専門課程	夜間科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	夜		講義	演習	実習	実験	実技
1年	夜	450 単位時間/単位	105 時間	210 時間	540 時間	時間	時間
			855 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		16人	0人	5人	24人	29人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成過程については、各学年の担任がカリキュラム案を作成する。このカリキュラム案は、教務委員会の議を経て、理事会に諮り、決議する。 公表の時期については、北海道学事課への学則変更届けの受理が完了した後に行われる。
成績評価の基準・方法
（概要）成績評価の基準は、各授業科目担当者と、担任によって策定され、教務委員会の議を経て、校長が決定する。
卒業・進級の認定基準
（概要）夜間科の場合は、課題の提出を以て卒業の認定としている。
学修支援等
（概要）学習支援については、各科目担当と学年担任の密接な連携により、単位不足等にならないよう、毎回出席状況、授業進捗の確認を行っている。欠席等により授業に出られない場合は、課題や補習を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	4人 (100%)
（主な就職、業界等） 既に職を持っている方が通っていることから、継続してその職に就いている。			
（就職指導内容）インターンシップ、担任・就職担当者との個別指導、本学院独自の企業説明会を開催。			
（主な学修成果（資格・検定等））ファッションビジネス能力検定、パターンメイキング技術検定、色彩検定、カラーコーディネート検定、洋裁技術検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	1人	20%
(中途退学の主な理由) 体調不良。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任・校長との個別面談		